

事務事業名		文化財保護管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	30 地域文化の伝承と創造			
	基本事業名	01 文化財の保存と活用			
根拠法令		文化財保護法、県・市文化財保護条例、市文化財調査委員設置条例		全体計画 (※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			
	係名	文化財係	電話 27-3111 内線 273		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、天然記念物銘木樹勢回復、民俗芸能の育成支援、開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導など 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	② 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 指定文化財、埋蔵文化財、市内で開発行為を行う事業者、市民	③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・文化財が現状維持される。 ・文化財が無断で破壊されない。	名称 ア 埋蔵文化財発掘届出・有無照会受付数 件 イ ニホンカモシカの保護・滅失処理数 件 ウ 郷土芸能協会加盟団体数 団体	
			⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
			名称 カ 指定文化財数 件 キ 埋蔵文化財数 箇所 ク	
④ 結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・保存・活用される。 ・次世代に継承される。		⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称 サ 滅失せず現状が維持された指定文化財数 件 シ 郷土芸能協会加盟団体出演回数 回 ス 埋蔵文化財の保護指導数 件		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (目標)	26年度 (目標)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円		130	430	430	430	430
			一般財源	千円	1,297	1,651	1,750	1,750	1,750	1,750
			事業費計 (A)	千円	1,297	1,781	2,180	2,180	2,180	2,180
			人件費							
	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5		
	延べ業務時間	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500		
	人件費計 (B)	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,297	11,781	12,180	12,180	12,180	12,180		
⑤ 活動指標	ア	件	315	533	400	400	350	300		
	イ	件	4	3	2	2	2	2		
	ウ	団体	32	32	32	32	32	32		
⑥ 対象指標	カ	件	86	88	86	86	86	86		
	キ	箇所	185	189	185	185	185	185		
	ク									
⑦ 成果指標	サ	件	86	88	86	86	86	86		
	シ	回	54	45	55	55	55	55		
	ス	件	34	181	50	50	40	40		

事務事業ID	0847	事務事業名	文化財保護管理事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和25年文化財保護法、昭和32年県文化財保護条例、昭和35年市文化財保護条例の施行後、文化財の保護・管理を図るために始められた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成13年に三陸町と合併し、指定文化財が増えた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財公有地(史跡)の刈払いを充分にやっけて、草がのびないようにしてほしい(周辺住民から)。 ・天然記念物樹木の腐朽が進んでいるものは、治療を行ったほうがよい(樹木医師から)。 ・遺跡に指定されている私有地の刈払いを行政ですてもらいたい。(周辺住民から)

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 文化財の保護保存及びその継承が図られることは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 文化財保護法、県・市文化財保護条例で、公共の関与が示されているため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象や意図を縮小すれば、文化財の適切な保護保存ができなくなる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 文化財公有地(史跡)の刈払いの回数が足りない。また、遺跡に指定されている私有地についても刈払いの検討が必要。 ・天然記念物樹木の養生・治療が十分にできていない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 指定文化財や埋蔵文化財の保護保存ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 文化財の保護管理を行う事業は、これのみである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 文化財公有地の刈払い、天然記念物樹木の治療など外部への事業委託も行っており、これ以上の削減は事業の停滞を招く。 また、震災の影響により埋蔵文化財の発掘等件数も今後増加が見込まれる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 一般事務職員2名(専任1名、兼任1名)、専門的知識・技術を有する職員2名(専任1名、兼任1名)、嘱託職員1名(埋蔵文化財調査員)が他の文化財事業と並行して事務事業を行っており、これ以上の削減は事業の停滞を招く。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 文化財は指定されることによって公的な財産でもあることから、行政が保護保存に係る費用を負担することは妥当である。また日常的な管理については所有者が行っており、所有者の負担が日常管理の負担を超えて大きくなる場合には行政が費用を負担している。

事務事業ID	0847	事務事業名	文化財保護管理事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>・ 東日本大震災により、埋蔵文化財発掘届出、有無照会が大幅に増加した。</p> <p>・ 懸仏2点を市指定有形文化財に指定し、市内の文化財数は88件となった。</p> <p>・ 復興に係る試掘調査の結果、埋蔵文化財包蔵地が4ヶ所増え、189ヶ所となった。</p>											
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・ 震災による集団移転や個人宅建設に係る埋蔵文化財発掘届出、有無照会が増加することから、25年度は他市からの派遣職員4名、新規採用職員1名、任期付職員2名を配置する。</p>		<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	成果	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
成果	低下		×	×																				
	(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
<p>・ 震災からの復興のため、埋蔵文化財発掘届出、有無照会等は今後も増加が見込まれる。</p> <p>・ 今後の文化財の保護保存を図るため、この事業を継続する必要がある。</p>																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
<p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																							
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																						
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>史跡公有地の刈払い回数が少ない。</p>										
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																						
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>史跡公有地の刈払い回数の増加や、天然記念物樹木の保存状態への対応など、文化財の適切な維持に努める。</p>	<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	成果	低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
成果	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
